日工株式会社

第157期中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

NIKKO

株主のみなさまへ

日工ブランドをより高める活動を推進し、「真にお客様から信頼されるメーカー」を目指します。

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。
ここに、当社第157期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業及び業績の概況等についてご報告申しあげます。

2019年12月　取締役社長　**辻　　勝**

この度の台風に被災されたみなさまへ、謹んでお見舞いを申しあげるとともに、一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

さて、当社は新中期経営計画2019を5月に発表し10年先を目標とした持続的な企業価値を創造すべく新たなるスタートを切りました。グループの2019年度の上半期の取り組みとしては新型アスファルトプラント「VPシリーズ」を発売し好評を得ました。下半期より本格的に受注活動を行い「VPシリーズ」を軸に販売を展開します。

国内の建設環境ですが、近年の温暖化による自然災害が年々増し、国土強靭化計画が急ピッチに進められると予想しています。しかし、建設労働人口減少という大きな課題があり、当社は省力化、省人化の新製品を開発し国土強靭化・働き方改革に貢献していく計画をしています。

海外事業に関しては、中国は今年度以降も引き続き、政府の環境規制の強化、経済対策としての積極的なインフラ投資が活発になることから、当社の事業環境は堅調に推移すると思われます。また、今後の成長市場と期待するASEAN諸国で売上拡大のために現地に生産・販売拠点を設けるべく、きめ細かな市場調査と戦略の立案を進めてまいります。

今年、8月13日に創立100周年を迎えた当社は『nからはじまる未来創造』（nは主にNikkoを意味）をスローガンに4つのコア技術「加熱」「混練」「搬送」「制御」を活用し主要事業に更なる磨きをかけると共に、コア技術の積極的展開を試み、新たな事業領域の拡大に注力します。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

当第2四半期累計期間の概況 (2019年4月1日から2019年9月30日まで)

事業の経過及びその成果

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦の影響や英国のEU離脱の行方を巡ってより一層不透明感を増しており予断を許さない状況となっています。一方でわが国経済は、政府と日銀による景気浮揚施策の継続を背景に、企業業績や雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いているものの経済の先行については、消費税増税などの景気への影響が懸念され、不透明な状況となりつつあります。

このような状況の中、当社グループに関係の深い建設関連業界は、引き続き、順調に推移しているものの、資材・物流価格の上昇や労働力不足による工事の遅延懸念といった問題は未だ解決しておらず、予断を許さない情勢が続いています。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は171億40百万円(前年同四半期比16.6%増)、損益面では連結営業利益9億59百万円(前年同四半期比102.3%増)、連結経常利益10億34百万円(前年同四半期比73.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億3百万円(前年同四半期比77.8%増)となりました。

なお、部門別の概況は以下のとおりであります。

アスファルトプラント関連事業

国内の売上高は製品及びメンテナンス事業ともに、前年同四半期比減少しましたが、海外の売上高は、輸出の増加に加え、日工(上海)工程機械有限公司において第1四半期連結会計期間より四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したこと等に伴い前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比10.6%増の86億67百万円となりました。

コンクリートプラント関連事業

製品の売上高は期初の受注残高が昨年度を上回っていたため、前年同四半期比増加しました。また、メンテナンス事業の売上高も前期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比18.0%増の45億69百万円となりました。

環境及び搬送関連事業

環境製品、搬送製品ともに売上高は前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比23.2%増の13億53百万円となりました。

仮設及び土農工具その他事業

仮設機材、破砕機、防水板の売上高が前年同四半期比で増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比34.6%増の25億49百万円となりました。

通期業績の見通し

当社グループの国内の事業環境は、2019年度は政府建設投資が大きく伸びることが予想され、2018年度に引き続き、堅調に推移するものと思われます。

通期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高357億円、連結営業利益23億円、連結経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円の予定です。

TOPIX　100周年記念式典

2019年10月18日に、神戸ポートピアホテルにおきまして、当社グループ社員を対象とした100周年記念式典を開催いたしました。これもひとえに株主のみなさまのご支援によるものと深く感謝しております。今後も当社グループは社員一丸となりまして、さらなる発展に尽力してまいります。

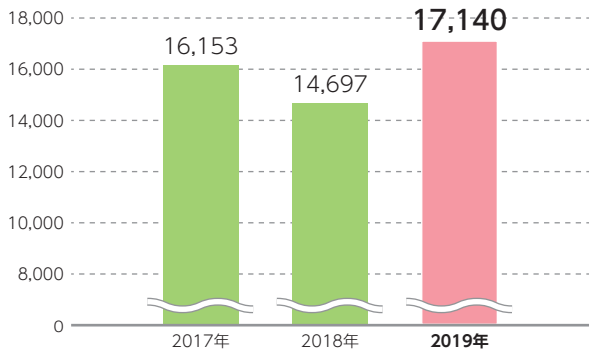
第2四半期連結業績ハイライト（各年度4月1日～9月30日）

売上高

（単位:百万円）

16.6%増
（前年同期比 +2,442 百万円）

各セグメント毎の売上が前年同期比10%超で推移したことにより、大幅に増加いたしました。

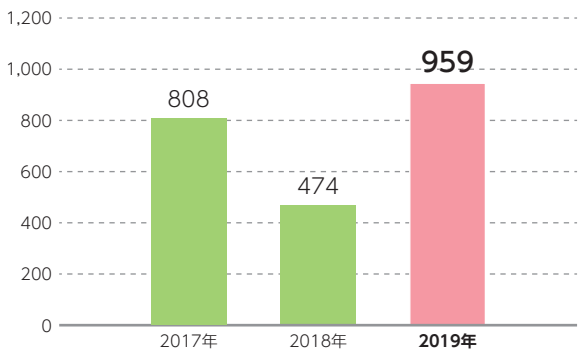


営業利益

（単位:百万円）

102.3%増
（前年同期比 +485 百万円）

売上高の増加及び原価率の低減により大幅増益となりました。

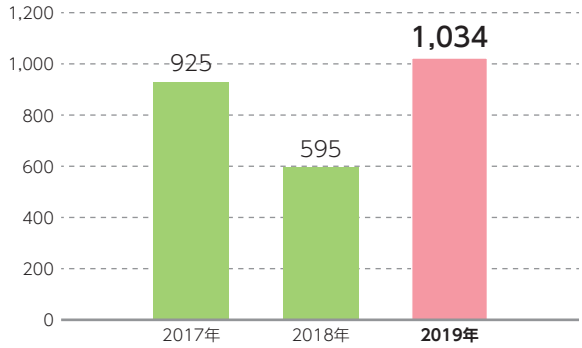


経常利益

（単位:百万円）

73.6%増
（前年同期比 +438 百万円）

営業利益の増加により、増益となりましたが、為替差損が増えたこと等により、増益幅は営業利益の増益幅を下回りました。

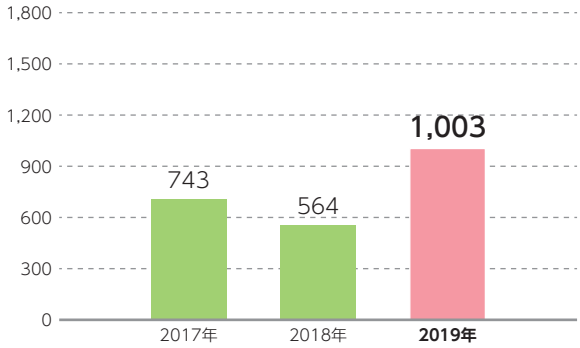


親会社株主に帰属する四半期純利益

（単位:百万円）

77.8%増
（前年同期比 +438 百万円）

投資有価証券の売却益計上で、税引前利益は大幅増益となり、税金負担が増えましたが、増益幅は経常利益の増益幅を若干上回りました。



企業概要

（2019年9月30日現在）

会社概要

商　　号	日工株式会社 (NIKKO CO.,LTD.)
本店所在地	〒674-8585　兵庫県明石市 大久保町江井島1013番地の1
設　　立	1919年(大正8年)8月
資 本 金	91億97百万円
従業員数	529名(グループ合計820名)
会計監査人	有限責任　あずさ監査法人

役員

代表取締役会長	西川　貴久
代表取締役社長	辻　　勝
常務取締役	桜井　裕之
常務取締役	藤井　　博
取締役	衣笠　敏文
社外取締役	永原　憲章
社外取締役	湯浅　　勉
取締役	中山　知巳
常任監査役	保田　信高
社外監査役	貞苅　　茂
社外監査役	大田　直樹
社外監査役	福井　　剛

主要な営業所及び工場

営業所

本社(明石)	事業本部(千代田区)
大阪支店(大阪)	北海道支店(札幌)
東北支店(仙台)	北信越支店(新潟)
関東支店(さいたま)	中部支店(名古屋)
中・四国支店(広島)	九州支店(大野城)
横浜営業所(横浜)	四国営業所(高松)
南九州営業所(鹿児島)	沖縄支店(島尻郡)

東京サービスセンター(野田)
明石サービスセンター(明石)
盛岡サービスステーション(盛岡)
湾岸サービスステーション(市川)
北陸サービスステーション(金沢)
明石サービスステーション(明石)
岡山サービスステーション(倉敷)
東京モバイルセンター(吉川)

工場

本社工場(明石)、幸手工場(幸手)、
加古川工場(加古川)、福崎工場(神崎郡)

海外

台北支店

株式の状況

発行済株式の総数　8,000,000株

当中間期末株主数　4,654名

大株主（上位10名）

株　主　名	持株数（千株）	持株比率（%）
日工取引先持株会	1,092	14.1
日工社員持株会	352	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	308	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	246	3.2
株式会社三井住友銀行	240	3.1
日本生命保険相互会社	170	2.2
重田　康光	170	2.2
住友生命保険相互会社	149	1.9
株式会社百十四銀行	136	1.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	133	1.7
合計	**3,000**	**38.7**

当社は、自己株式を245,120株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

当社ホームページにて、四半期ごとに決算資料を開示しております。詳細な資料となっておりますので、株主のみなさまもぜひご覧ください。

資料の場所はトップページの「ニュースリリース」に掲示しております。

配当方針

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、基本的にその期間の業績に応じて配当をすべきものと考えております。そのため、株主のみなさまのご期待に添うべく、経営基盤の強化並びに企業価値の増大に努めつつも、内部留保の充実、配当の安定継続性等をも総合的に勘案して配当額を決定することを基本方針としております。

株式に関するお手続について

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、次のとおり異なりますので、該当の窓口にお問合せください。

1. 証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話：0120-094-777 (平日9:00～17：00)
●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社にお問合わせください。	

2. 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話：0120-094-777 (平日9:00～17：00)
●特別口座から証券口座への振替請求 ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の口座管理機関	手続用紙のご請求方法 インターネットからのダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月（基準日3月31日）
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 [掲載インターネットアドレス] http://www.nikko-net.co.jp/denshikoukoku/
上場金融商品取引所	東京証券取引所

ご案内

単元未満株式（1～99株）については、株式市場で売買することができませんが、当社では単元未満株式の買取・買増請求制度を実施しております。

(1)買取請求制度
株主さまがご所有の単元未満株式を市場価格で買取るよう当社に請求できる制度

(2)買増請求制度
株主さまがご所有の単元未満株式と合わせて1単元（100株）となるように、市場価格にて単元未満株式の買い増しを当社に請求できる制度

お手続きの詳しい内容につきましては、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

NIKKO
〒674-8585
兵庫県明石市大久保町江井島1013番地の1　電話(078)947-3131

UD FONT by MORISAWA
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。